

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立大山小学校
-----	------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。</li> <li>・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</li> <li>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分かを数や言葉を用いて記述できる。</li> <li>・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な二つの数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角の大きさについて理解すること。</li> <li>・台形の意味や性質について理解すること。</li> <li>・はかりの目盛りを読むこと。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の温まり方について、問題に対するまとめ方を導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができる。</li> <li>・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし表現すること。</li> <li>・氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解すること。</li> </ul>
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生はあなたのよいところを認めてくれていると考えている。</li> <li>・先生は、授業で間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えてくれると考えている。</li> <li>・地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはよいところがあると考えていること。</li> <li>・将来の夢や目標を持つこと。</li> <li>・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行うこと。</li> <li>・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用すること。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりできるようにしていく。自分の考えがより伝わるような書き表し方の工夫ができるように、相手意識を持ちながら書く学習活動を設けていく。</li> <li>・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えまとめることができるよう、物語や説明文のおおまかな内容や要旨を記述する活動を設け、指導していく。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角の大きさについて、図形の角に着目したり、はかりを実際に用いて目盛りを読んだりすることを通して、指導していく。</li> <li>・台形やその他の図形について学ぶ際、既習の図形をもとに意味や性質について学習する場面を設けていく。</li> </ul> <p><b>【理科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発芽の条件について実験結果から差異点や共通点を理解し、さらに新たな問題点を考えることができるように差異点や共通点について理解を深め、課題を自ら見つけることができるような活動を設定し指導していく。</li> <li>・理科で学習したことと実生活で起こる事象や出来事と関連付けて、知識を概念的に理解することができるように、身の回りの物を使って実験を行ったり、単元の最後に生活と結び付けてまとめを行ったり指導していく。</li> </ul>
--

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>日頃より学校教育へのご支援、ご協力ありがとうございます。</p> <p>1. 学習面 国語の話し合いの場面において、話の内容を捉えたり、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめたりすることができる児童が多いようです。さらに、自分と違う意見について考えることが楽しいと感じることができています。学校では、少人数学級のよさを生かし、これからも話し合い活動を多く取り入れながら学力の定着を図っていきたく考えますので、ご家庭でも話をしたり相手の考えを聞いたりする機会を設けていただくとありがたいです。</p> <p>2. 生活面 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」と答えた割合が平均を大きく上回っていました。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に対しても肯定的回答の割合が高く、大山小の児童は地域に支えられていることを実感し、自分も積極的に地域とつながっていききたいという意識が育っていることが分かります。</p> <p>一方、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」に対して、そうでないと考えている児童もいるようです。学校でも、児童それぞれのよさや得意なことなどに気づくことができるよう支援していきますので、ご家庭でも引き続きお子様を見守り励ましたり、夢や目標を応援したりしていただきたいと思います。</p>
---